教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050（3538）2346
1部15円 年定価360円
（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2019/10・15
No. 1985
2面

・日教組第108回定期大会
・カムバックセミナー
・夏休みファミリーパズル当選者発表

県人事委員会勧告・報告

月例給・一時金とも6年連続の引き上げ

●今年度も昨年の見直し後の役職の対応関係により、公民較差を算出
●管理職手当の給与抑制措置の影響分を除いた公民較差（【359円】0．09％）を基本
●管理職の給与抑制措置後の公民較差（試算）は（【1，491円】0．38％）
●初任給および若年層の給料表の水準を引き上げ（平均改定率：0．1％）
●一時金（ボーナス）引き上げ（＋0．05月）（支給月数：4．50月分）※再任用職員を除く
●パークアンドライドに伴う駐車場代・駐輪場代の加算制度を創設
●教職員の多忙化対策について、「総業務量の縮減につながる業務の見直しが重要」と言及

10月10日、兵庫県人事委員会は知事および県議会議長に対して「職員の給与等に関する勧告・報告」をおこなった。

この間、兵教組は組合員一人1通のジャンボハガキのとりくみ、9・30第1波統一決起集会に加え、各地区代表者による要請行動、第2回人事委員会事務局長交渉後の全地域組合からの緊急FAX要請行動など、大衆行動を積み上げてきた。（下記参照）

今回の勧告に際して人事委員会は、「昨年、客観的な指標に基づき見直しをおこなったものであり、本年の勧告についても、見直し後の対応関係により公民較差を算出」とし、兵教組・県職労から元に戻すよう再三要請したにも関わらず、「見直し後の役職の対応関係」で公民較差を算出した。

月例給

月例給について、公民較差359円（0．09％）を解消するために、初任給および若年層の給料表の水準を引き上げるとした（平均改定率0．1％）。30歳台半ばまでの若手職員を2，000円の範囲内で（初任給＋1，500円～1，900円）、給料表を引き上げ改定することとしている。引き上げ分を若年層に配分することは、現給保障が廃止される高齢層職員をはじめとするすべての教職員の士気確保の観点から、課題が残ることとなった。

一時金

本県職員の期末・勤勉手当の年間支給月数4．45月分に対し、民間事業所の平均支給月数は4．50月分と職員の一時金が民間給与を下回っていることから、民間給与との均衡をはかるため、一時金を0．05月分引き上げ4．50月分とした。なお、引き上げにあたっては、勤務実績に応じた給与を推進するため、引き上げ分を勤勉手当の6月期および12月期で均等に配分することとした。しかし、今年度も一時金の引き上げが勤勉手当への配分とされたことは、育休者や非常勤職員等への配慮がなく、問題が残る。

あわせて、再任用職員の期末手当及び勤勉手当については、国と同様の考え方で、定年前職員の一定割合とすることとしており、再任用者の期末・勤勉手当の改定は困難とし、引き上げを見送った。

通勤手当

パークアンドライドに伴う駐車場代・駐輪場代の加算制度を措置するとした。支給額は利用料金の1／2、上限額を自動車（3，000円）、バイク（1，500円）、自転車（1，000円）としている。全額支給には至らなかったものの、制度が創設されることは、私たちの思いを一定程度理解したものと受け止めることができる。

働き方改革と勤務環境整備

「教職員の多忙化対策」という項目が新たに起項された。これは、長年厳しい現場実態を訴え続けてきた成果と言える。そこでは、「教員については、通常の授業以外にも、部活動、生徒指導、保護者対応、地域との連携等、多岐にわたる業務を担っており、さらに、新学習指導要領の実施に伴い、業務量が増加している。こうした厳しい勤務実態の中、長時間勤務が常態化しており、その改善は喫緊の課題である」と報告され、「労働安全衛生法の改正により、校長や教育委員会にもとめられる勤務時間管理の責務が明確化されたことをふまえ、教職員の勤務時間の把握を徹底するとともに、文部科学省における学校の働き方改革の動向を注視しつつ、勤務時間の上限に関する方針等の具体化をはかり、勤務時間の適正化のとりくみをすすめていく必要がある」「県教育委員会が各市町教育委員会とも連携し、総業務量の縮減につながる業務の見直しなど、勤務時間の適正化にむけた実効性の上がるとりくみが強力に推進されることが重要である」と、県教委のとりくみの必要性についてもふれている。さらに、労働基準監督機関である人事委員会も、「必要に応じて、さらに詳細な実態調査や県教育委員会との意見交換をすすめる」と言及した。

高齢期の雇用

「本県においては、小中学校に配置される養護教諭、栄養教諭及び事務職員について、再任用された全ての職員がフルタイム勤務となるなど、必ずしも全ての職員が希望どおりの勤務形態で再任用されていない。各任命権者においては、厳格な定数管理や法令による配置基準等の制約がある中でも、職員の希望にも配慮した配置等、再任用職員の士気を維持し、持てる力を最大限発揮して活躍できるようとりくむ必要がある」とはじめて、課題が残っている少数職種の再任用について、具体的に言及した。

おわりに

「今後の給料及び諸手当等の検討にあたっては、10年余にわたる行革措置の経緯を常に念頭に置きながら、職員のモティベーションの維持・向上に十分配慮されるよう、あわせて要請する」との見解について、委員長会見の場でその姿勢に変わりがないことも確認した。

県教育長宛「要求書」の完全集約を！

今後、県当局・県教委が、国（臨時国会等）や他の都道府県の動向、本県財政を理由に、さらなる制度改悪を提起してくることも想定され、予断を許さない厳しいたたかいとなる。

私たちは2019対県確定闘争勝利にむけ、各地域組合での要求実現集会を成功させ、県教育長宛「要求書」の完全集約、すべての分会からのはがき行動をはじめとしたよりいっそう強固な団結と闘争態勢を確立し、たたかいぬこう。

兵教組地区代表・県職労支部代表 県人事委員会へ要請!!

9月30日（月）、兵教組・県職労両組合は、兵庫県人事委員会に対して、県内各分会より届けられたジャンボはがき（12，052通、最終）および県職労署名を提出し、兵教組地区代表・県職労支部代表による要請行動をおこなった。地域事情や学校現場の勤務実態をもとに、兵教組からは「実効ある勤務時間の適正化」「パークアンドライドに伴う駐車場・駐輪場代等の加算制度の創設」「公民比較における役職の対応関係を従来通りに戻すこと」など、すべての教職員の生活改善・士気高揚につながる勧告をもとめた。

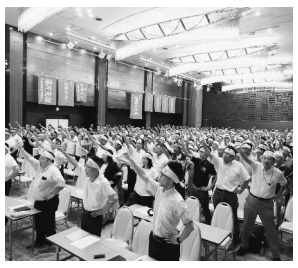
12,052人の熱い思いを提出

2019対県確定闘争勝利にむけて 第1波統一決起集会

要請行動終了後、ラッセホールで第1波統一決起集会が開催された。兵教組からも多数の組合員が参加した。

集会冒頭、青木県職労中央執行委員長より「これからの国の動向を注視し、兵庫の賃金は兵庫で決める、地方の自主性を尊重させていく。そのためにもとりくみを強化していく必要がある。両組合の執行部も当面する人事委員会闘争、対県確定闘争勝利にむけて、先頭にたってみなさんと全力でたたかい抜く」と決意をこめた主催者あいさつがあった。

経過報告、要請行動報告、専門部・地区代表による決意表明、スローガン採択、決議文採択がおこなわれ、会の最後には川原兵教組中央執行委員長より「今の職場環境をなんとか変えていかなければならない。業務改善されるが、それ以上に業務が振りかかってくる。さらに、人員は削減される。少子高齢化、人口減少時代に入っている現状だが、これを打破していくために人事委員会闘争、19対県確定闘争に勝利していく」との熱い決意と団結がんばろうで集会は終了した。



意思統一をはかる「団結がんばろう」

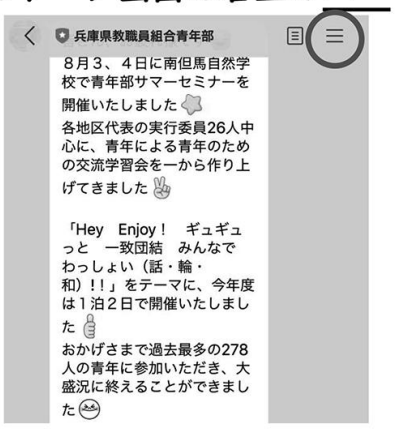
青年部 LINE 公式アカウント を活用しよう！！

このLINEでは、青年部活動のお知らせや報告をおとどけし、
青年部活動の「見える化」を推進します。
下記QRコードより、気軽に登録しよう！

友だちへの紹介の手順

①「兵庫県教職員組合青年部」のトーク画面の右上のバーをクリック！

②メニューバー内にある「おすすめ」をクリック！



③送信する友だちを選択

□のチェックをし、「送信」をクリック！

※複数選択OK！

めざせ！10,000人！

※LINE@はグループとは違い、登録してもアカウントが公開されません。登録者同士でのやりとりもできませんので、気軽に登録してください。

日教組 第108回定期大会

19～20年度 運動方針決定！

9月14日から2日間、日教組の19～20年度の運動方針を決定する第108回定期大会が日本教育会館で開催され、兵教組から代議員13人が参加した。

岡島日教組中央執行委員長は、「教職員の長時間労働や講師不足の問題など、学校現場をとりまく課題が山積している」「教職員の厳しい勤務実態が社会的に明らかとなり、教職を志す学生等が大幅に減少していることに影響を及ぼしている。業務削減、定数改善、給特法の廃止・抜本的見直しをめざした、教職員の働き方改革のとりくみは途についたばかりである。教職員が実感できるような具体的な改善策をもとめ、とりくみを継続強化していこう」とあいさつした。

参加した代議員からの感想

神戸教組　釜口清江さん

「女性参画率32．7％。日教組第三次推進行動計画の目標である40％には届いていないが、数年前と景色が変わった」と閉会あいさつで則松中央執行副委員長が語られた。多様な考え方で学校が変わり、そして社会も変わっていくと思う。

各県の討論からも多くの学びがあった。鹿児島県では、36協定の代表者を決める機会に組合の存在を知らせることができたことや、育児休業の始まりとなった静岡県からは、3年育休の代替に正規を配置することで安定した学校運営ができるようもとめる予定だという意見も聞くことができた。前向きな討論を聞き、私も前進する気持ちを新たにした2日間だった。

西宮教組　高橋藤一郎さん

2日にわたる討論で印象に残ったのは、なり手がいなくて新年度に担任が間に合わないことや、パワハラや全国学力テストをめぐるひどい実態などである。パワハラに関しては組合員以外の相談にも乗り、加入に結び付けたとりくみが印象に残った。また大切だと思ったのは、単に定数改善をもとめるだけでなく、業務改善を学校でも地教委でもさらに追求することが必要だということである。全国の仲間の熱い思いに、明日から闘う力をもらった2日間だった。

加小教組　小林健さん

日教組の定期大会に参加して最も印象に残ったことは、各都道府県における教育環境がこれほどまでに違うという教育現場の現実だった。私たち兵庫の教育現場ではありえないような厳しい状況の中で教育活動がおこなわれている実態を知り、兵教組の先輩方が長きに渡ってもとめ、闘い、勝ちとってくださった「諸権利の有り難さ」と「兵教組の組織力の偉大さ」を改めて実感した。2日間のどの質疑・討論も、「子どもたちと組合員のため」を思い、「教職員組合としてできることは何か」を真剣に考え、「みんなの幸せ」を追いもとめるものだった。一組合員として、貴重な経験を得ることができ、大変勉強になった。

揖龍教組　高橋孝行さん

みずおかさんを再び国会へ、教育の議席を守ったからこそ、私たちの運動を力強くすすめていくことができる。しかし、授業時間数は増えるし、教育内容も増える。その中、働き方改革をするという矛盾と閉塞感を感じながら臨んだ大会だった。日教組は国会、文科省へ現場の声をしっかりと伝えてくれている。しかし、現政権下での抜本的改革は難しいと感じたのも事実である。学校の働き方改革について、全国各単組から活発な討論、とりくみ報告がなされた。「現場の主体的な意識改革と業務削減がなされなければ、定数が増えても変わらないのではないか」という言葉にハッとさせられ、一つの道筋をみた。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

養父教組　八木尾英典さん

大会に参加し、全国の仲間の生の声を聴くことができた。教員の未配置の問題、パワハラの問題、大学入試に関する問題、全国共通の課題が山積みであることがわかった。これらを一つずつ解決していくためには、日教組・兵教組・各地域組合が国や県・市町と交渉していき、制度を改めていくことはもちろん必要だが、同時に現場が声をあげ、行動していかなければ変わらないと感じた。中でも、現場でできる勤務時間の適正化。もっとすすめていかなければならないと思う。

兵教組多紀　植野優さん

全国の多くの仲間が集まり、これからの方針について活発な議論がなされたことに大きな力を感じた。また、子どもたちをとりまくさまざまな問題や、私たちの活動に関する多くの課題について、力を合わせることの重要性を再認識した。地区や地域組合へ伝えていく中で、子どもたちのため、教職員のため、社会のためにしっかりと団結をして、とりくみをすすめていこうと気持ちを新たにした大会であった。

南あわじ教組　山口雅彦さん

定期大会に初めて参加した。100本を超える討論、質疑において、各県の現状やとりくみを聞く中で、子どもたちのために日々、学校現場で奮闘している全国の仲間の考えや思いに触れ、決意を新たにする機会となった。

働き方改革、新学習指導要領の実施など、過渡期と言われる今だからこそ、分会・地域組合、そして、兵教組での組織拡大・強化を含め、丁寧なとりくみをすすめていく必要性を強く感じた。

教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所　主催

カムバックセミナー

8～9月にかけて、職場復帰を控える育児休業中の組合員を対象とした「カムバックセミナー」（主催＝教職員共済・共催＝兵教組）を神戸・多西・姫路・養父の4会場で開催し、合計71人が参加した。また、神戸教組も独自開催し、27人が参加した。

育児を支援する休暇制度や学校現場の最新情報、育児開始というライフステージの変化に対応した生活設計等の情報の提供とともに、育児休業を終えて職場復帰を果たした先輩組合員からのアドバイスなどがあった。

講座Ⅰ　育児と仕事の両立支援制度・権利獲得のあゆみ

育児と仕事の両立を支援する休暇制度等について、兵教組より説明をおこなった。参加者からは「今、私が当たり前のように育休を取得できているのは、先輩方の苦労があったからだと感じた」「復帰の不安を解消するようなサポートがあることを知れてよかった」などの感想があり、改めて組合活動の大切さを確かめ合うことができた。

講座Ⅱ　子育て世代の貯蓄と保障

教職員共済より、子育てに関わる貯蓄と保障について実際にかかる費用を例示しての提案があった。参加者からは「万が一に備えておくことの大切さを改めて感じた」「復帰までに保障も見直したい」などの声があり、教職員共済の優位性を再確認することができた。

講座Ⅲ　参加者交流会

各地域組合からの情報提供や参加者同士の交流をおこなった。参加者からは「現在の学校の状況が把握でき、復帰後の働き方を考えることができた」「同じ立場の方と交流できる機会はなかなかないので、大事だなと感じた」「復帰することへの不安な気持ちを共有することができ、よかった。同じ仲間がいると心強かった」

育児だけでなく、介護やそれぞれのライフステージに合わせた働き方はすべての教職員に必要である。権利拡大とともに、権利行使しやすい職場づくりをすすめていこう。

夏休みファミリーパズル当選者発表

夏休みファミリーパズルにご応募いただき、ありがとうございました。応募総数90通のうち、正解者の中から抽選で20人の方に粗品をお送りいたします。

パズルの解答とともに、「みずおかさんが当選し、本当によかった」といった感想が多数寄せられました。また「私たちの先輩方がパワフルに活動している様子を見るたびに、負けてられないと思う」「組合活動の現状が知れてありがたい」などの感想をいただきました。

今後もよりよい紙面づくりをめざしてまいります。よろしくお願いいたします。

（編集部）

当選者の皆さん

岨下俊弘（西宮）、万代貴子（宝塚）、三宅智子（川西）、末陰久資（三田）、藤森章代（明石）、小村一史（加西）、藤井愛（多西）、神田健志（姫路）、池田彩（赤相）、木村三寿（神崎）、岡田侑子（豊岡）、阿曽三枝子（宍粟）、河井胤典（南あわじ）、池田一成（養父）、長野文子（朝来）、磯貝陽吉（多紀）、足立圭吾（多紀）、船越いくみ（南あわじ）、木場知香（伊丹）、土井大輔（尼崎）

敬称略

★皆さんの感想やご意見をお待ちしております。

兵庫県教育会館 ラッセホール 70th Anniversary
永年のご愛顧に感謝を込めて
兵庫県教育会館 ラッセホール 70周年記念フェア

Lasse Hall
人集い、街華やぐ交流拠点
2019 Autumn

Fleur Lasse Hall Infomation
フルール 2019年10月号
「兵庫県教育会館」は、1949年に創業し、70年を迎える事ができました。永年に渡り、ご利用のお客様に感謝の気持ちを込めて「70周年記念フェア」を開催いたします。

第三弾
秋のバンケットプラン

2019年10/1(火) ▸▸ 2019年11/30(土)
2時間制 20名様～
親睦会、交流会、同窓会、各種ご宴会など、様々なシーンに

お料理＋フリードリンク
ブッフェ形式にすると、料理が一品（おまかせ）追加でさらにお得に！
特典 日曜日・祝日のご利用…フリードリンク1アイテム追加、または一文字看板サービス

Aコース　和・洋 料理　お一人様（税金・サービス料込）5,000円
◆サーモンとアボカドのマリネ
◆オードブルバリエ
◆蓮根とベーコンの秋サラダ
◆たっぷりトウモロコシのフライ
◆秋刀魚と鰯のピリ辛ソース
◆鶏モモ肉のブランケット仕立て
◆季節の炊き込みご飯
◆椀子そば
◆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

Bコース　和・洋 料理　お一人様（税金・サービス料込）6,500円
◆オードブルバリエ
◆お造り二種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆秋刀魚けんちん焼
◆秋鮭の一口フライ
◆牛ほほ肉の赤ワイン煮込み
◆握り寿司 太巻寿司
◆椀子そば
◆デザート（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）

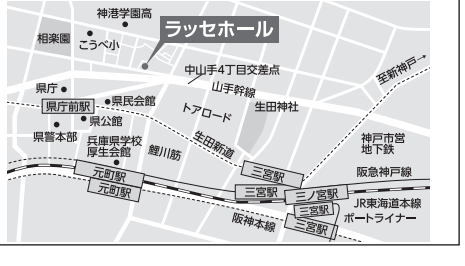
Cコース　和・洋 料理　お一人様（税金・サービス料込）8,000円
◆焼茄子と無花果のマリネ
◆お造り三種盛合せ
◆マグロ洋風タタキ
◆鶏モモ肉と栗の柚子胡椒炒め
◆サーモンポワレ　茸クリーム
◆豚肉とサツマイモの味噌焼
◆握り寿司彩々
◆椀子そば
◆フルーツ&プチケーキ（ブッフェコーナーにてご提供）
◆コーヒー（ブッフェコーナーにてご提供）
＜ライブ＞◆牛ロース鉄板焼き

＋ フリードリンク
●瓶ビール　●ウイスキー　●ハイボール　●芋/麦焼酎　●赤白ワイン　●日本酒又はカクテル　●ウーロン茶　●オレンジジュース

フリードリンクは、1アイテムにつき300円で追加できます。
追加アイテム…
酎ハイ、梅酒、カクテル、ノンアルコールビールなど

注意事項
※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。
※料金には、お料理、フリードリンク、基本音響、照明（マイク2本付）、会場費（2時間）の料金が含まれます。
※ご延長の際は会場費とフリードリンク代金として30分ごとに一人あたり500円（税金、サービス料込）の追加料金をいただきます。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合せはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 4-10-8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com
●JR、阪急、阪神、地下鉄三宮駅より1.1km